



地域学校協働活動と キャリア教育の広報紙

てなむ

学校向け

◆ こばやしスクールサポートボランティアセンター
◆ 小林市キャリア教育支援センター

【小林市社会教育課】 TEL22-7912
【小林商工会議所】 TEL23-4121

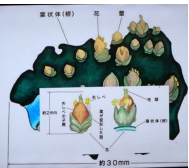


見守り隊の方から聞きました。「登校中に霜柱を見つけると、小学生は踏んでおもしろがっています。車で来たらできない体験ですね。」

車で送ってもらう子どもたちのことが、いろいろな場で話題になります。雨の日や寒さが厳しい季節はその数も増え、保護者の車で学校周辺が混雑することもあります。「子どもの安全のため」という理由もあり、解消は難しいでしょうが、自立登校で養われる力を、粘り強く伝えていくことが望まれます。強い体力や精神力、自然の観察力、まわりの状況をとらえ、自分の力で安全に登校する力、一緒に登校する仲間とのコミュニケーション能力…。

他にもきっと、良い効果があることでしょう。

三松小 オオヨドカワゴロモの学習

4年生


コケのようですが、冬に花が咲き、種ができるれっきとした種子植物。世界で小林市の岩瀬川にしかない国の天然記念物です。社会教育課の井上さんから、生態と保護活動について話を聞き、特別に採取した実物を観察しました。子どもたちは石の表面についた、とても小さなオオヨドカワゴロモに顔を近づけて熱心に観察していました。

3年生 100年前の人びとのくらし


野尻小

細野小


野尻小の3年生は野尻歴史民俗資料館を、細野小の3年生は八幡原文化財展示室をそれぞれ見学しました。説明はどちらもガイドボランティアと社会教育課の皆さん。民俗資料館では、昭和初期の民家を再現したコーナーで、当時使われていた道具の説明を聞き、館内を見学。その後、外に出て、いろいろな道具の体験をしました。八幡原の展示室でも道具の説明があり、体験活動を行いました。

両校の児童は、古い道具に興味津々。熱心に説明を聞き、昔の人の知恵や工夫に感心していました。

【体験した道具】 かるい(背負いかご)・背負子(しょうこ)・みの斧・のこぎり・炭火アイロン・黒電話・下駄・わらじ など

小林小 キャリア教育交流会

5年生

若松さん(中央消防署)

坂元さん(金型製造:株 MEISEI)

職業を通して自分の未来を考えるこすもす科の授業です。5職種6名の皆さんに来ていただきました。子どもたちは15分ずつ4つのブースを回り、仕事の内容について聞き、質問をしていました。

中学1年生で社会人の話を聞く「13歳のハローワーク」にも繋がる授業です。

写真以外の講師は…

【保育士】井手さん(中央保育所) 外蘭さん(こばと保育園)
【畜産業】大平落さん(前沢畜産)
【助産師・保健師】黒木さん(小林市役所こども課)

西小林小 保育士体験

5年生

こすもす科「わたしは保育士・私の夢」
箱の中身当て

射的

保育士の体験を通して自分の将来について考える授業です。31名の5年生が遊び道具やプレゼントを準備して、西小林保育園を訪問しました。

園児たちは、ボウリングや魚釣り、射的など6種類のゲームを、大喜びで体験していました。

【お礼の言葉】 声かけをするのが難しかったけど、保育士の仕事のことがよくわかりました。

裏に続きます。

給食感謝集会

1月24日からの1週間は、全国学校給食週間。それに合わせて、給食の意義や目的について考え、給食に携わる人たちに感謝する集会が小学校で、毎年開かれています。

須木小

何をするための道具でしょう？

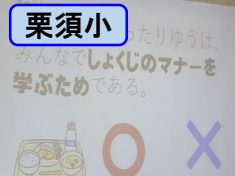


お礼のメッセージ

講師は齊藤先生(栄養教諭：東方学校給食センター)。クイズを交えながら給食センターの仕事や、生産者の思いを紹介してくださいました。

【お礼の言葉】学校に来ると「今日の献立」が目に入り、楽しみです。しっかり食べて元気な体をつくりま

栗須小



【食に関するクイズ】給食委員会が問題とスライドを作りました。



集会は「えいようのうた」の元気な合唱で始まりました。先生が野尻給食センターや生産者、配送に関わる人たちの仕事や思いを紹介した後、給食委員会の5・6年生が〇×クイズを出題しました。この後、児童全員が感謝の手紙を書き、給食に関わっている皆さんに届けます。クイズの一部、すべて〇です。

① 給食が始まったのは、家がまずしくて弁当をもってこれない子どもたちがたくさんいたから。② カルシウム不足にならないよう、学校の給食に牛乳をつけることが学校給食法で決まっている。③ 昔、ごはんはパンより高かったの、給食の主食がパンばかりだったことがある。

紙屋小 もくもく体験



教室から体育館へ避難した後、火事や地震、水害などの話を聞きました。講師は「御池青少年自然の家」の指導員お2人。

もくもく体験では、体に害のない煙が充満したテントを四つん這いで通り抜けました。

煙で何も見えない状況を体験して、子どもたちは火事や煙の怖さを改めて感じていました。

御池青少年自然の家では、煙体験の出前講座を無料で行っています。



読み聞かせ

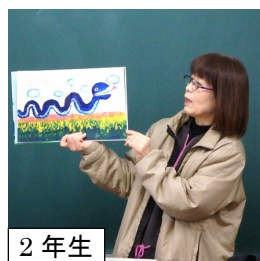
東方中



坂下実千代さん(小林市小・中学校「読みきかせ」連絡協議会会長)

東方中では、読み手を囲むようにして生徒が座ります。時には、保護者ご自分の仕事について語ってくださることもあります。今回の読み手は、長年読み聞かせの活動に携わっておられる坂下さん。2つの物語をストーリーテリング(語り)で紹介してくださいました。

西小林中



2年生

ゆめいろ文庫の皆さんによる月に1度の読み聞かせです。この日は、3名の方が各学年で読み聞かせをしてくださいました。

小林市はすべての小中学校で読み聞かせを行っている全国的にも珍しい自治体です。小さい頃から物語に触れることで、聞く態度が養われ、中学生になっても真剣な表情で聞いています。東方中も西小林中も、子どもたちは最後まで姿勢を崩さず、熱心に耳を傾けていました。

細野中 薬物乱用防止教室



① 薬物の種類と危険性 ② オーバードーズ(薬の過剰摂取) ③ 薬物依存・乱用とは ④ 薬物乱用に陥らないためには ⑤ お酒・たばこの害 ⑥ DVD(事例でみる薬物乱用)



山元慶子さん(学校薬剤師)

青少年の薬物被害は年々深刻になっており、学校は正しい知識を得て薬物から身を守るための授業を、薬剤師や警察の担当者などと連携して行っています。山元さんは、さまざまな画像を紹介しながら、薬物やお酒、たばこの害についてお話してくださいました。

【お礼の言葉】薬物が脳を溶かしてしまうと聞いて、怖さがわかりました。薬物は絶対に使いません。

【KSSVC より】実践記録集の原稿を提出していただき、ありがとうございました。編集、製本の上、3月中には各学校へお届けします。なお、「学校支援ボランティア活動実績」が2月28日までとなっておりますので、よろしくお願いします。

